

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【公開番号】特開2015-191640(P2015-191640A)

【公開日】平成27年11月2日 (2015.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-067

【出願番号】特願2014-70721(P2014-70721)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 15/00 (2006.01)

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 5 4 0 A

G 0 6 F 15/00 4 1 0 A

G 0 6 F 15/00 4 4 0 B

G 0 6 Q 10/10 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月30日 (2017.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、ユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを表示可能とする仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の情報処理システムは、電子会議を行うクライアント端末と、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置を含む情報処理システムであって、ユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付手段と、前記参加受付手段で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明によれば、ユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを表示可能とする仕組みを提供することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子会議を行うクライアント端末と、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置を含む情報処理システムであって、

ユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付手段と、

前記参加受付手段で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記電子会議に参加しているユーザ及び当該電子会議に新たに参加するユーザとが共通してアクセス可能なフォルダを、前記新たに参加するユーザのクライアント端末における会議画面に表示すべく制御することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】

電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダが複数あるか判定する判定手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、前記判定手段により前記電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダが複数あると判定された場合に、当該複数のフォルダを表示し、当該フォルダが 1 つと判定された場合に、当該フォルダを開いた画面を表示すべく制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

前記情報処理装置は、電子会議に参加するユーザがフォルダにアクセス可能となる位置を記憶し、

前記クライアント端末の位置を取得する位置取得手段

を更に備え、

前記表示制御手段は、前記参加受付手段で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、前記位置取得手段により取得されたクライアント端末の位置から当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、当該クライアント端末の会議画面に表示すべく制御することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理システム。

【請求項 5】

電子会議を行うクライアント端末と、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置を含む情報処理システムの制御方法であって、

ユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付工程と、

前記参加受付工程で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御工程と、

を含むことを特徴とする情報処理システムの制御方法。

【請求項 6】

電子会議を行うクライアント端末と、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置を含む情報処理システムを、

ユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付手段と、

前記参加受付手段で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアク

セス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 7】

電子会議を行うクライアント端末と通信可能に接続される、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置であって、

前記クライアント端末からユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付手段と、

前記参加受付手段で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】

電子会議を行うクライアント端末と通信可能に接続される、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置の制御方法であって、

前記クライアント端末からユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付工程と、

前記参加受付工程で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御工程と、

を含むことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 9】

電子会議を行うクライアント端末と通信可能に接続される、当該クライアント端末を利用して電子会議に参加するユーザがアクセス可能なフォルダを記憶管理する情報処理装置を、

前記クライアント端末からユーザの電子会議への参加を受け付ける参加受付手段と、

前記参加受付手段で受け付けたユーザの電子会議への参加に応じて、当該ユーザがアクセス可能なフォルダを、クライアント端末の会議画面に表示すべく制御する表示制御手段として機能させるためのプログラム。